



2021年 第1回理事会議事録

1. 日 時

2021年3月9日(火) 自 19時00分 至 20時30分

2. 場 所

Zoom

3. 出席者

会 長 (代表理事)	本 間 徹
理事長 (代表理事)	坂 田 伸 一
理 事 (業務執行理事)	大 西 幹 雄
理 事 (業務執行理事・学連担当)	佐 坂 潤
理 事 (業務執行理事・ルール担当)	鳥 海 英 隆
理 事 (業務執行理事)	三 船 武 志 (委任出席)
理 事 (業務執行理事)	三 輪 久
監 事	遠 藤 卓 男

4. 審議事項

第1号議案 2021年度事業計画について
第2号議案 2021年度収支予算について

5. 報告事項

- ① ルール改訂・ジャッジ講習について
- ② 日本オリンピック委員会(JOC)選手強化協議会について
- ③ オンライン競技会の振り返りについて
- ④ JADAの活動について
- ⑤ 新たなスキーサイト発掘の動きについて
- ⑥ スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>遵守状況の自己説明の準備の進行状況について
- ⑦ その他共有事項

6. 議事の経過

(1) 定員数の確認

会議に先立ち、理事総数7名、うち本人出席6名、委任出席1名の確認を行った。

(2) 理事長挨拶

坂田理事長より開会にあたり、出席のお礼を述べ、議事に入った。

(3) 議事録署名人選任

坂田理事長は定款第33条により議長となり、議事録署名人の選任方法を諮ったところ、議長一任となったので次の2名を指名し、全員異義なくこれを承認した。
佐坂理事、三輪理事

(4) 審議事項

①第1号議案及び第2号議案の附議

議長は、第1号議案「2021年度事業計画」及び第2号議案「2021年度収支予算」については、関連する事項のため一括して諮り、議案内容について配布資料に基づき、次のとおり説明した。

事業計画については、2020年度は新型コロナウイルスの流行により、全日本水上スキー選手権が開催できなかったが、2021年度は日本スポーツ振興センター(JSC)の助成対象事業として全日本水上スキー選手権及びジュニア講習会を申請していること、また事業に伴う収支予算について説明した。

議長は、説明のあと質疑について求めたが質疑がなかったため本案について採決を図ったところ全員一致の賛成を得て、第1号議案及び第2号議案は可決成立した。

(5) 報告事項

議長は、審議事項終了後、各報告事項について報告を行った。

① ルール改訂・ジャッジ講習について

- ・今年ジャッジ講習の年であり、IWWFのルールの構成が大きく変わった為、JWWFにおいても大きくルールの構成等を変える予定。
- ・U10, U14, +65, +70, +75, +80のクラスが新設。世界のルールに合わせ、前出のクラスの参加資格は撤廃。
- ・ルールブックは4月末に完成予定。ジャッジ講習、試験は6月予定。

- ・開催方法に関しては、試験はできる限りリアル開催を検討しているが、今後の状況に合わせ検討していく。
- ② 日本オリンピック委員会（JOC）選手強化協議会について
- ・zoomにて国際フォーラムや協議会が開催されており、当連盟も参加。NFが自力で採算をとれるよう、努力する必要がある、そのバックアップをJOCは積極的に行っているというアナウンスがあった。
- また、国際フォーラムでは「スポーツを通じて各国と交流をする（国際交流）」ことの支援もしており、海外からコーチを呼ぶ、など当連盟でも活用することができるのではないか、といった意見もあった。
- また、総務会議ではコンプライアンス強化や、倫理規定の強化、女性理事を増やす必要性などが訴えられたとのことだった。
- ③ オンライン競技会の振り返り
- ・2020年はコロナウイルスにより全日本選手権を開催できず、オンライン競技会を初の試みとして行った。
 - ・反省点（告知方法、アップ方法、賞典、ルール）等意見が挙がった。
 - ・多くの反省点はあるものの17名が動画をアップ。開催自体は価値があるものであり、2021年度以降も継続して行うこととなった。
- ④ JADAの活動について
- ・学連 事業説明会にて学連 福島理事・三輪理事からアンチドーピングに関するの情報提供を行う予定。
- ⑤ 新たなスキーサイト発掘について
- ・世界インカレを経験した若手選手たちが、新たなスキーサイト発掘にむけて積極的に動いているとのこと。明石のケーブルススキーサイトなどを見学し、プロジェクト化して活動している。
- ⑥ スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞遵守状況の自己説明の準備の進行状況について
- ・事務局にて進めているスポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞遵守状況の自己説明の準備の進捗を共有。13の原則と各詳細を説明し、2021年6月の役員改選時期での対応、2021年度中の対応、中期計画（2021年～2024年）での対応を進めることになることを共有する。



⑦ その他共有事項

- ・全日本選手権準備について。3月末か4月から水資源、土木に大会申請を行う予定。その後行政へも申請を行う。G.W前に設営。土台だけでも早めに行う。
- ・アジア大会について。昨年アジア大会を開催する動きがあったが、コロナウイルスにより頓挫。他国についても同様の状況であり、来年以降再度検討事項となっている。
- ・2021年6月に役員改選。アナウンスがあった。
- ・君津からの意見。昨年君津大会を行った場所で学連主催の大会を開催してほしいと要望が出ている。しかし、GPSがうまく入らない関係などもあり、学連開催の大会が出来るかどうかは検討中。開催する場合でもチャンピオンシリーズの代替ではなく、別の試合として行う予定とのこと。

(6) 閉会

議長は、以上をもって本日の理事会の議事を全て終了した旨を告げ、閉会を宣言した。

上記議事に相違ないことを証するため、次に記名押印する。

議長 坂田 伸一 ⑩

署名人 佐坂 潤 ⑩

同 三輪 久 ⑩